

松江市長 上定 昭仁 の

上を向いていこう

Vol.42



「明けましておめでとう
ございます」



穏やかな初春をお迎えのこと
と、心よりお慶び申し上げます。

昨年の大晦日には、**松江市出身**の藤井伶央さん・福島智朗さん・富田洋之進さんのトリオバンド「**Omoinotake**」が、**NHK紅白歌合戦へ初出場**を果たしました。紅白出場の夢を叶えた3人の勇姿は、「夢を実現できるまち 誇れるまち」をめざす松江市の未来に重なります。「**Omoinotake**」の活躍を励みに、ステキな一年にしてまいります。

今年**2025年**は、**新松江市の誕生から20周年**を迎える節目の年となります。2005年3月に1市7町村の合併により生まれた新松江市は、各地域のユニークな魅力を融合して一体感を育んできました。**10月**には、**20周年を祝う記念式典**を開催し、市政の発展に功績のあった方々を表彰する予定です。

また、**松江城天守**が2015年7月に**国宝に指定**されてから**10周年**となります。それを記



〈松江城国宝10周年記念ロゴ〉



〈お城EXPO in姫路2023 松江城ブースの様子〉

念して6月には、毎年横浜で開催され大人気の「**お城EXPO**」の特別版を**松江で初開催**するとともに、国宝天守を有する5市長が松江に一堂に会して「**国宝五城サミット**」を開催しますのご期待ください。

そして、**秋**には、松江を舞台にした**NHKの連続テレビ小説「ばけげん」の放映がスタート**します。松江市の美しさや穏やかさが全国・世界に届くことを楽しみにしています。

この節目の年に、これまでの歩みを顧みるとともに、**未来に向かって新たな一歩を踏み出す挑戦の年**にしていきましょ。松江市民のみなさんにとつて、素晴らしい飛躍の年になることを願っております。祝

町自連だより

「町民の触れ合いを通して
明るい町づくり」

朝酌地区町内会・自治会連合会

会長 原 成美

コロナ禍で止まっていた時間が少しずつ動き出し、公民館、各町内会・自治会の行事により、こどもと大人の触れ合いが始まりました。

ここで、朝酌地区の大きな行事を紹介いたします。春には小学校と町民の合同運動会を開催します。高学年児童が授業の一環として開閉会式の総合司会から競技開始前の準備運動などの進行をして、中学生もボランティア補助員として参加します。そして、たくさん町の民の皆さんが参加されます。夏には夏祭りを開催します。一部は小学生の相撲大会で始まり熱戦が繰り広げられ、二部は音楽ステージで盛り上がります。秋には文化祭を開催します。一部が幼稚園・小学校の学習発表会も兼ねて披露され、二部はトランペットとピアノの合同演奏、皆美が丘女子高のダンス、松江二中と皆美が丘女子高の合同吹奏楽が披露され、多くの町民の皆さんが来場されます。このような活動を通して明るく活気ある町づくりをしています。



〈本年度開催した合同運動会の様子〉

松江の皆さん こんにちは。



やま ぐち のり こ
山口 紀子

松江北高、神戸大学教育学部卒業。神戸市小学校、神戸市教育委員会定年退職。法務省人権擁護委員。兵庫県小学校退職校長会副会長。近畿双松会副会長。遣島使。松江観光大使。

私が松江で過ごしたのは入園前と小学校中学校各1年間、高校3年間の計6年間です。しかし、その6年間は濃密なもので今の私の礎になっています。大学卒業後は神戸市の教員となり再任用も含め43年間の教育畑で過ごしました。

特別支援学級担任の時、一人でも二人でも助けてい

ただければ、とすぐる思いで学校ボランティアをよびかけました。するとなんと21人の方が手を挙げてくださったのです。その時の感激は今でもよく覚えています。いつかそのお返しをしたいと思いつけてきました。定年を迎え時間ができた今、ようやくそれが実現できるかと、色々な団体に所属して活動しています。そのうちの一つに高校の同窓会「近畿双松会」があります。先輩に学び、後輩に刺激を受けています。また同期の会は阪神淡路大震災の年に同窓会が大阪で行われ、以後それが発展して大阪、京都、神戸の3都市

各幹事持回りでの開催が今も続いています。松江幹事さんは節目ごとに大同窓会の世話をしてくれていきます。11月にはコロナで延期されていた古希同窓会が開催されました。前日の大雨で参加できない人が多くいたのは残念でしたが98人も集まることができ大いに楽しみました。

また、「近畿松江会」のご縁で松江観光大使を拝命しております。松江観光大使の名刺は威力があり、渡しますと大層喜んでくださり、私の名前は覚えられなくとも松江観光大使ということは覚えていくくださいます。松江に行ったことがあるという方は多く、本題そっちのけでしばらく松江城や宍道湖などの話で盛り上がりま

近畿松江会にご入会ご希望の方はご連絡ください。

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34 東洋軒ビル4階 竹谷設計事務所内 近畿松江会事務局 ☎090-3054-9159 (竹谷)

まちをよくする マイレポート

誰でも楽しく簡単に

松江市スポーツ推進委員

田中 耕一
たなか こういち

松江市スポーツ推進協議会は、市民の健康体力づくりの向上のため、地域のスポーツ活動の活性化を図るとともに、スポーツ・レクリエーション活動の普及と、その推進に係る体制の整備を市民活動に浸透させ、健康で明るい豊かなまちづくりを目的とした機関です。市民体力テストなど自分の体力を具体的に確認できるイベントを開催しています。

年数回の研修を受け、スポーツの楽しさを学び、地域の人に伝えていきます。今年度はラジオ体操の研修を開催して地域の皆さんに自然に体を動かす面白さを提供しました。

皆さんはスポーツにどのような印象をもっているのでしょうか。高度な運動競技、例えば野球やサッカー、陸上などをスポーツだと思っている人が多いと思います。しか

し、気晴らしにする遊び、または楽しむことが本来のスポーツの意味です。私が担当している城西地区では、昨年度から城西ニューススポーツふれあいフェスタを開催して、モルックやペタンクなど、ものを投げるといった簡単な動作で勝敗が決まるものを種目として扱っています。高齢者からこどもまで幅広い年代がほぼ同じ力で勝負でき、新たな交流の場になっています。

皆さんもスポーツを長い経験や難しい技術が必要なものと考えずに簡単なものから始めたらいかででしょうか。私たちスポーツ推進委員は外に出て運動を楽しむ人を歓迎しています。スポーツで新たな地域の絆を創り出していくために。



〈城西ニューススポーツふれあいフェスタ〉



〈ラジオ体操研修〉

11/23



第5回 松江ジビエールフェス



市役所だんだん(d)テラスで、『食べる、知る、活かす、広がる』をテーマに開催されました。猪カレーやジビエバーガーなど、各店自慢のジビエ料理の出店、鳥獣被害を題材とした、島根大学教育学部附属義務教育学校や松江農林高校の生徒さんたちの研究発表など、ジビエの魅力や鳥獣被害の現状を発信しました。

11/28



高石あかりさん トミー・バストウさん

松江を訪問

小泉八雲と妻・セツが暮らした『小泉八雲旧居』に、2025年度秋にNHKで放送予定の連続テレビ小説「ばけばけ」で夫婦を演じるおふたりが訪れ、記者会見で松江の印象や作品にかける思いをたっぷり話されました。

松江まちかど

ダイアリー

市報

松江

目次

- 02 新春対談 小泉八雲・セツ×松江市
- 06 松江市長 上定昭仁の「上を向いていこう」／町自連だより
- 07 松江の皆さんこんにちは。／マイレポート
- 08 松江まちかどダイアリー
- 09 食べごろ松江／シリーズ松江の文化力×未来
- 10 「住民税（市県民税）申告」へ早めの準備をお願いします
- 11 確定申告の電子申請時に使用するマイナンバーカード署名用電子証明書／第46回まつえレディースハーフマラソンランナー・ボランティア募集
- 12 7月1日より盛土などに関する規制が始まります
- 13 受け渡しによる大腸がん検診を実施します
- 14 こんにちは 民生委員・児童委員です
- 15 令和6年姉妹都市との交流の軌跡
- 16 子育て・健康・福祉
- 18 中期財政見通しを策定しました
- 19 情報ひろば
- 26 でかけてごしない～イベント情報～

松江市ホームページ



防災メールに登録しましょう。
QRコードを読み取って、
空メールを送ってください。



商標について：QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



食べごろ松江

vol.6



冬の「うちそう」寒ブリ

くまつえ旬もの食べてごせ

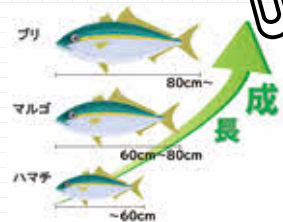
鮮魚コーナーで年中見かける「ブリ」。寒くなり、特に脂が乗ったこの時季のブリは、「寒ブリ」と呼ばれ、富山県の「氷見の寒ブリ」をはじめ、各地で水揚げされる寒ブリは、その食味から、ブランドものとして高単価で取引されるなど、冬を代表する旬の魚となつています。

また、本市を含む島根県沖合は、全国有数のブリの産地となっており、島根県は、国内第4位のブリ類の漁獲がある（令和3年）など、地域に馴染みの魚のひとつです。ブリは日本近海を回遊する魚で、春に北上し、冬に南下します。冬に島根県の沖合で漁獲される大きなブリは、低水温を乗り切るための栄養を蓄え、脂が乗っており、刺身、ブリ大根、照り焼き、ブリしゃぶなど、さまざまな料理で活躍します。ブリは、全国各地で養殖も盛んに行われていますが、日本海で漁獲される天然のブリは、1年中流通する養殖のブリと比べ、すっきりとした上品な脂でクセがなく、引き締まった身はほどよい食感と甘味があり、日本海の豊かさを感じられる、まさに冬の「うちそう」です。

また、ブリは、大きさにより呼び名が変わる、「出世魚」です。地域にもよりますが、西日本では、60cm程度までをハマチ（ツバス）→80cmまでをマルゴ→80cmを超えるものがブリと呼ばれます。このように成長するにつれて呼び名が変わる出世魚は、成長を祝う縁起物とされ、おせち料理などでも重宝されています。美味しく、縁起も担げるこの時季にピッタリの食材です。

そんなブリですが、その栄養価も魅力です。ブリをはじめ、青魚には健康な身体づくりを助ける栄養素が豊富に含まれています。年末年始の不規則な生活で乱れがちになる体調を整えるためにもおすすめの食材です。

今まさに旬を迎える「寒ブリ」。食べて美味しく栄養豊富、縁起良し。本市内の鮮魚コーナーや飲食店では、市沿岸の定置網や一本釣りで漁獲された新鮮なブリが楽しめます。暮らしのそばに豊かな漁場がある、松江だからこそ味わえる魅力をぜひご堪能ください。



大きさによって呼び名が変わる出世魚。



定置網で漁獲されたブリ。新鮮な魚が味わえるのは、豊かな漁場に恵まれる地域の特権。

写真提供：笠浦大敷網漁業株式会社

おすすめ逸品



脂が乗った寒ブリはどんな料理でも絶品。

写真提供：株式会社 Mitsu Fisherman's Factory

【この記事に関する問い合わせ】産業経済部水産振興課 ☎ 55-5636

シリーズ「松江の文化力×未来」

松江の文化力の次世代を担う人を紹介します！

Vol.18



ふるかわ ひろこ
古川 寛子

北海道網走市出身・松江市内在住。
平成16年から来待ストーンの学芸員を務め、来待石灯ろう協同組合の事務局としても活躍中。

大学で物理を勉強していた私が、学芸員として来待石に関わることになるのは学生時代には全く考えていませんでした。

来待ストーンの学芸員募集を見つけたのは偶然です。採用されてからというもの、来待石の魅力にどっぷりとハマっていききました。

来待石の一番の特徴は、柔らかくて加工しやすいことです。その特徴を生かした柔らかく温かみのある風合いが大好きです。

一時は全国に輸出するほど隆盛を誇った来待石ですが、今では採石ができる事業者が2社、加工販売する事業者が10社にまで減少しており、職人の高齢化も進んでいます。一度採石をやめると、採石場は荒れ、技術の継承が難しくなるため、現状に危機感を抱いています。

一方で、来待石は世界から注目され始めています。世界中に日本庭園の愛好者がいるように、特に庭園用の石灯ろうは中国の事業者が約200基購入したほか、イギリスの事業者も定



〈来待石を彫る古川さん〉

今後は、来待石をはじめとした自然科学教育に、より一層取り組んでいきたいと考えています。こどもたちには地域の誇りである来待石の歴史や可能性を知ってもらふことで、職人になりたい、地域に住み続けたいと思ってもらうことの一助になれば嬉しいです。

【問い合わせ】文化振興課 ☎ 55-5517